

自 指す学校像
明日の登校を
楽しみに
できる学校

自主・自律 敬 愛 協 働

鶴 中 だ よ り

町田市立鶴川中学校 TEL 042-735-2405 FAX 042-735-2401

鶴川中学校だより
第17号
2026年2月6日発行

CLICK!
町田市立鶴川中学校 検索

1 スキー移動教室

2月1日（日）から3日（火）の2泊3日の日程で、1年生が長野県の菅平高原スキー場にスキー移動教室に行ってきました。初日こそ最低気温マイナス18度と、雪国の厳しさを思い知らされることになりましたが、2、3日目はマイナス5度程度で晴れ。雪も豊富で、初心者にも滑りやすいコンディションで3日間を過ごすことができました。

体調不良者が若干名出たことと、全国的なインフルエンザB型の流行の兆しを勘案して、2日間とも夜のレクリエーションは中止としましたが、実行委員を中心に生徒たちは非常によく頑張りました。特筆すべきは、第一に足の痛みなどを理由としたリタイア者が一人も出なかったこと。毎年、スキーブーツという普段履きなれない靴に脛（すね）が当たったり、あまり使わない筋肉を酷使したりすることで、講習を2日目からリタイアする生徒が少なからずいるのですが、今回は一人もいませんでした。インストラクターの先生方の教え方も良かったのかもしれません、素直にそれに従ってスキーを楽しもうとする生徒が多かったことが一番の原因だと思います。



第二に、宿での食事前や食事後のあいさつが素晴らしかった。今回宿泊した天狗ロッジは、食事の美味しい宿舎でした。ご飯や汁物を何度もお櫃（ひつ）ごとおかわりする姿を毎食見ることができました。実行委員が前に立って、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをする際、食堂に響く生徒の元気な声が印象的でした。片付けてから部屋に戻るときも「おいしかったです」などの言葉をそえている生徒を何人も目にしました。宿の方にとってうれしいのは、食事を残さず食べてくれること。何度もご飯をおかわりしてくれるだけでもうれしいのに、「ごちそうさま」の声が大きいのも、そこに込められた感謝の気持ちが大きいことを、しっかりと伝えていたと思います。

課題が全くなかったわけではありませんが、この3日間をどのように過ごし、何ができるようになったのか、何が課題だったのかを考え、今後に生かしていくことは非常に重要です。それができるようになると、さらなる成長が期待できます。ぜひ、課題を発見し、その解決策を考え、2年、3年と大きく成長していきましょう。



今回の移動教室の実行に向けて、1年生は「いいねをもらおう」キャンペーンを実施してきました。無事目標だった1000いいね獲得を実現し、素晴らしい成果を残した1年の皆さんに、大きな「いいね」を送りたいと思います。お疲れ様でした。

2 薬物乱用防止教室

2月4日（木）、2学年で薬物乱用防止教室を行いました。当日は2月3日からの学級閉鎖の影響で、2年A・B組のみが対面で、C・D・E組はリモートで参加するというハイブリッド形式で実施されました。

講師を務めてくださったのは、特定非営利活動法人・八王子ダルクの木村智洋先生。八王子ダルクは薬物依存症から回復して社会復帰を目指す、民間のリハビリ施設です。ご自身の経験をもとに熱く語っていただき、生徒たちも真剣に聞いていました。いわゆる違法薬物だけでなくアルコールやたばこも依存性が高く、健康被害に至る危険の高いものです。ぜひ薬物の危険性を認識し、万一誘われることがあっても手を出さないようにしていきましょう。

3 学級閉鎖による学校行事の変更について

2月3日（火）から5日（木）の3日間、2年C・D・E組で学級閉鎖を行いました。東京都でも危険水準を超えて広まっているインフルエンザB型の罹（り）患者が、当該クラスで増えたためです。このため2月6日（金）に予定されていた、2年の横浜校外学習は、3月13日（金）に延期することとなりました。

インフルエンザに限らず、感染症の予防は、早寝早起きによる睡眠時間の確保、バランスのとれた食事、うがい・手洗いの実施、そして換気効率の悪い場所や人込みに近寄らないことが大切です。もし、高熱が出た場合は、周りの人に感染を広げないためにも、無理をして登校したり外出をしないよう、お願ひします。3年生の受験本番時期が近づいています。まずは基礎体力を付け、感染予防対策をしていきましょう。